



発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について(疑い事例、オホーツク総合振興局斜里町)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 10月23日に斜里町内で回収され、簡易検査の結果が陰性であった衰弱野鳥(ハシブトガラス)1羽について、本日、環境省から、国立環境研究所で実施した遺伝子検査でA型鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)の陽性反応が確認された旨、連絡がありました。</p> <p>○ 現時点では、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であり、高病原性鳥インフルエンザが確認されたわけではありません。</p> <p>○ 環境省では、引き続き、高病原性の検査を実施しており、その結果は判明次第公表します。</p> <p>○ 環境省は、回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>〈今後の道の対応〉</p> <p>(1) オホーツク総合振興局は、野鳥監視重点区域において、野鳥の大量死等の有無について監視を強化します。</p> <p>(2) 回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 高病原性鳥インフルエンザが検出された場合、「北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会」を開催して情報の共有を図ります。</p> <p>※別添資料 令和4年シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況</p>		
参考	○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。		
報道(取材)に 当たって のお願い	○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	オホーツク総合振興局	
担当 (連絡先)	・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:車田) TEL:011-231-4111(内線24-384)ダイヤルイン:011-204-5205 ・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:早川) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441		

令和4年シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和4年10月～)

本件	○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	野鳥1例目	10/8	根室	別海町	糞便	カモ類	/	/	/	高病原性
●	疑い	10/23	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陰性	陽性	検査中